

* おそうしきまつり *

あなたの『ゆいごん』『いえい』展示作品大募集！のご案内です。

55年間！滋賀の文化芸術を支えてきた滋賀会館、この3月の20日から28日まで、そんな滋賀会館をみんなで楽しむイベント『滋賀会館の放課後2010』を開催します（※23日（火）は休館日で、イベントもお休みです。）。イベントのプログラムの一つとして、皆様から作品を募集して展示をする「おそうしきまつり」をおこないます。皆様からの『ゆいごん』『いえい』作品を心からお待ちしています。

滋賀会館という建物だけでなく、そこに集う人、地域の人、人があってこそ、場が生まれ、文化が育まれます。縁あって会館に関わった人にはそれぞれに固有の思いや歴史があると思います。逆に会館に関わらずに生活される方には『古い建物だなあ。』『そんなの知らないよ。』という方も、たくさんいらっしゃると思います。

会館を知る人・知らない人に関わらずに、みんなに共通することは、

『いま、あること』『いずれ、なくなること』

という点では、会館もみんなも同じだと思います。

会館がなくなると聞いたときに、感謝として、お葬式をしたいと思います。会館のお葬式。会館の遺言。会館の遺影。記念日をむかえるごとに遺影を撮っておくということも耳にします。

私は自分の『遺影』を用意していませんでした。

私のお葬式？私の遺言？私の遺影？

本物の「遺言」と「遺影」を募集するというわけではなく、いま、「ゆいごん」と「いえい」を作るとしたら、どのようなものを用意するだろう？この世とお別れすると考えた時に、人はどのようなことを残したいと考えているのだろう？もしかして、残したいとは思わないのかもしれませんが。

でも、残すとしたら…。

誰に対して、言葉を残したいのだろう？

残すとしたら、それはどのような言葉なのだろう？

自分の姿はどのような姿なのだろう？

自分の残したい写真はどのようなものなのだろう？

いま、「ある」こと。

いずれ、「なくなる」こと。

滋賀会館が「ある」こと。

滋賀会館が「ゆれている」いま、滋賀会館を知る人、滋賀に暮らす一人一人の作品を募集して、展示しようと考えています。

いま、ここに、どのような人たちが生きているのかを一同に集めて、滋賀会館への献花としたいと考えています。

たくさんの方の『いま、あなたの、「ゆいごん」「いえい』を募集したいと考えています。

おそうしきまつり企画 大藤寛子

追記 展示は、会館地階の空間を使用します。もし私と一緒に展示をしてみたい、という方がいたら、是非ご一報ください。

募集する作品について

A4までの大きさに2枚の紙に「ゆいごん」と「いえい」を作ってください。

手書き・装飾など、表現方法は問いません。郵送の場合はどんな紙でも構いません。

メールの場合は普通紙への印字・印画となります。ご了承下さいませ。

- ・残したい言葉
- ・残しておきたい写真(ご自身の姿または、代わりになるような好きな写真)
- ・滋賀会館に纏わる思い出があれば、また、なにか一言あれば
- ・お名前またはニックネームを範囲の中に明記する、または明記されないことでも構いません。

応募方法

作品を作っていたら、以下の方法のどちらかで、応募してください。

- ①郵送の場合は、応募用紙に必要事項をご記入のうえ、作品と一緒に郵送下さい。

〒520-0044 滋賀県大津市京町3丁目4-22 滋賀会館

『滋賀会館の放課後 2010』実行委員会おそうしきまつり宛

- ②メールの場合は、応募用紙の必要事項をメールにお書きの上、データをお送り下さい。

osoushikimatsuri@gmail.com

※添付データの種類 (.pdf .jpg .doc .docx .ai) を明記して下さい。

作品の返却について

- ①展示後、ご本人に返却

返却できる相当の切手の同封をお願いいたします。封筒はこちらでご用意いたします。※メールで応募された方は着払いになります、ご了承ください。

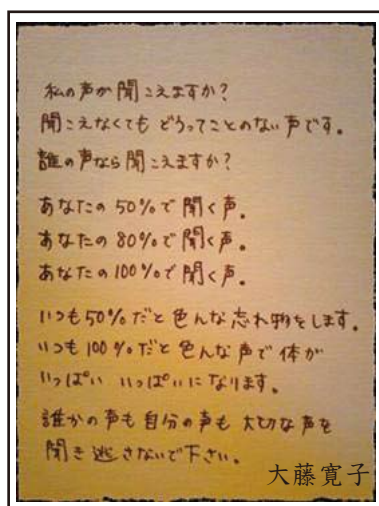
- ②展示後、どなたかに郵送

郵送できる相当の切手の同封をお願いいたします。封筒はこちらでご用意いたします。お届けする方のお名前・ご住所を応募用紙にご記入ください。※メールで応募された方は着払いになります、ご了承ください。また当方から突然の郵送で「どなた様」が驚かれないよう、事前に「ゆいごん・いえい」が届く旨を、必ず「どなた様」にお伝えいただけるようお願いいたします。

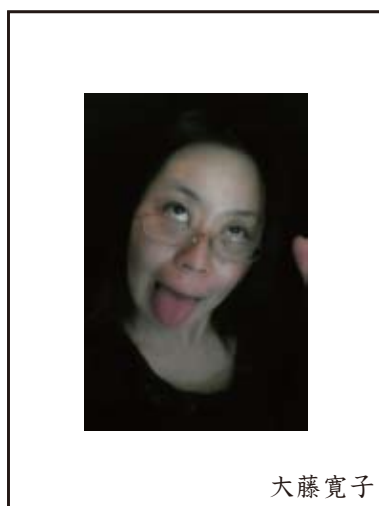
- ③展示後、ご返却なし

大藤寛子の方で責任を持って、保管させていただきます。

応募作品サンプル (企画の大藤がサンプルを作ってみました)



ゆいごん



いえい

大藤寛子プロフィール

滋賀会館の「演劇アカデミー」で演劇に出会う。滋賀出身、ヘルパーをしながら、京都・滋賀で舞台制作に携わり『人と人・土地と土地を結ぶこと』をモットーに活動しています。「おそうしきまつり」に、どうぞ、ご協力のほど、宜しくお願いいたします。

ご質問、ご不明な点などはこちらへお願いいたします。090-9057-1973 (ダイトウ)

必要事項をご記入下さい。

なまえ (ふりがな)
お名前

ご住所 〒

お電話番号

なにか一言

作品の返却について (①~③ご選択のうえ、グルッと○で印をつけて下さい。)

① 展示後、 ご本人に返却

返却できる相当の切手の同封をお願いいたします。

封筒はこちらでご用意いたします。

※メールで応募された方は着払いになります、ご了承ください。

② 展示後、 どなたかに郵送

郵送できる相当の切手の同封をお願いいたします。封筒はこちらでご用意いたします。お届けする方のお名前・ご住所を下記へご記入ください。

※メールで応募された方は着払いになります、ご了承ください。また当方から突然の郵送で「どなた様」が驚かれないよう、事前に「ゆいごん・いえい」が届く旨を、必ず「どなた様」にお伝えいただけるようお願いいたします。

なまえ (ふりがな)

お名前

ご住所 〒

③ 展示後、 ご返却なし

大藤寛子の方で責任を持って、保管させていただきます。

この作品展示で把握しました個人情報、作品については大藤寛子が責任を持って取り扱い、また、個人情報、作品をこのおそうしきまつり以外には使用しません。返却発送は、おそうしきまつり終了後、1~2週間で終える予定です。

<http://shigakaikan-houkago.blogspot.com/>

滋賀会館の放課後 2010 とは？

私たち、『滋賀会館の放課後 2010』実行委員会メンバーは、今まで滋賀会館で実施されてきたイベントにそれぞれ参加し、滋賀会館が魅力的な場所であることはもちろん、多くの人々に愛されてきたこと、愛されていることを実感いたしました。

そこで私たちは、滋賀会館の今後の可能性と新たな魅力を発見すべく、ジャンルを問わない表現 (ものづくり、身体表現、演劇、映像、音楽、現代美術など) をこの場所に集め、滋賀会館というこの魅力的な場所で、いろんなジャンルの芸術文化を介してたくさんの方に新しい気づきや、出会いを発見していただければと考え、『滋賀会館の放課後 2010』を行うに至りました。

『滋賀会館の放課後 2010』は滋賀会館が終わりを迎えるといったセンチメンタルなイベントではなく、あくまで滋賀会館という場を「楽しむ」ためのイベントです。ご来場いただいたみなさまに少しでも「来てよかった」「楽しかった」と、思ってもらえれば、私たちは幸いです。

『滋賀会館の放課後 2010』実行委員会メンバー一同